

図書だより



湊中学校学校図書館

中間テストお疲れ様でした。あっといいう間にも6月半ばですね。6月30日には「年越の祓(としこしのはらえ)」とともに大祓のの一つである「夏越の祓(なごしのはらえ)」という神事が全国の神社でおこなわれます。大祓の由来は『日本神話』のイザナギノミコトの禊払いを起源とする神事です。夏越の祓では1月から6月までを無事に過ごせたことに感謝するとともに、半年分の穢れを落とし、残りの半年の健康と厄除けを祈願します。夏越の祓は百人一首にも読まれています。「風そよぐ」ならの小川の夕暮れは みそぎぞ夏の しるしなりける」(藤原家隆)。どんな意味の歌なのか、図書館で調べてみてくださいね。



5月の統計

学年別貸出冊数			
1年	2年	3年	合計
484冊	166冊	231冊	881冊

学年別ベストリーダー	最多貸出クラス	1-2	179冊
1-2(男子)	33冊		
2-4(女子)	21冊		
3-3(女子)	29冊		

図書委員主催
6月イベント
3ヒント本探し

図書委員全員が本を探すための3つのヒントを書いた「ヒントカード」を1枚ずつ作りしました。3つのヒントを手がかりに答えだと思える本を探して下さい。難問から簡単なものまでいろいろあります。ぜひみなさんチャレンジしてくださいね。

★ 開催場所: 4階 図書館

★ 開催日時: 6月17日(月)～6月28日(金) 昼休み

時間内にできなかった場合は別の日に同じカードでも別のカードに変更してもできます。

チャレンジは
1人1回までです



第70回 読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。

青少年読書感想文全国コンクール

中学校の部 課題図書

『ノックソウライオウ』／佐藤まどか
中学3年生の夏希の家は4代続くオーダーメイドシューズのお店。5代目を継ぐはずだった兄が突然家を出てしまい、シューズデザイナーを夢見ていた夏希は100年続く老舗靴店を継ぐべきか将来に悩む。そんな中、一人一人に真摯に向い合う祖父の作る靴を履いた人たちが「この靴に出会って世界が変わった、人生が変わった」というのを目の当たりにし、進路に悩む夏希の心を大きく揺さぶる。

『希望のひとしずく』／キース・カラブレー
アーネスト、ライアン、リジーの3人は通称「残念な町」の中学3年生。3人は願いを叶えてくれるという伝説の井戸を見つける。偶然、人の願い事を聞いてしまった3人は、アーネストの祖父の遺品が願い事を叶えるアイテムだと気づく。人の幸せを願う気持ちを行動に変えてみたら、奇跡みたいに素敵なことを引き起こし、思いやりの連鎖が人々の思いを救っていく。希望であふれる物語。

『アフリカで、バッグの会社はじめました』／江口絵里
「人の命を救う仕事をしたい」というのが子どもの頃からの夢。医師、国連職員、研究者へと将来の夢が変わり、迷いながら銀行員になった仲本千津さん。そして、自分の本当にやりたいことがわかった時、夢に向かって一歩踏み出しました。アフリカの貧困問題を解決し、女性を支援するために、遠回りしながら自分の信じる道を歩んできた仲本さんの進路ドキュメンタリーです。

課題図書は図書館で展示中です。貸出可。
コンクール HP で本の紹介動画を公開中!